

〔曲名〕 毬つき遊び

〔曲種〕

〔作曲者〕 Jiro Nakano

中野二郎

〔編曲〕

ギター独奏曲として昭和6年（1931）に作り仙台アルモニアで出版を見た。

其の後マンドリン合奏曲に編曲、第二次大戦前、筆者がマンドリン五重奏団クラブ・ドメニカを組織して屢々（しばしば）全国中継放送したもの。

初めから器楽曲として作ったので歌詞はない。

然しその動機は相馬御風の童謡からであったので記しておきたい。

春よこいこい 早くこい

山のおうちの良寛さまは

春を待ち待ち 掬かがり。

掬はまんまる 真白に

糸目こまかに 出来たれど

上の模様は まだ出来ぬ。

ここにこうして花をつけ

ここにこうして 葉をつけて

蝶の一羽も つけましょうか。

赤青黄と 色々に

糸は貰って あるなれど

かがる模様は何にしよう。

春よこいこい早くこい

山のおうちの良寛さまは

春を待ち待ち毳かがり。

伝唱の手毬唄の節廻しを骨子として之を敷衍し終りのしめくくりは「まづまづ一貫かしました」のつもりで思い切って明るく長和音とした。

イタリアマンドリン百曲選別冊 日本の郷愁（1）より

1972年2月1日発行